



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 阿部益太郎

第7号 2018年9月29日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <http://www.spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

10月の行事予定

	行事	お弁当
1(月)	後期始業式 高1 適学・適職診断(1校時、実施後は授業) 高2 適学・適職診断(1校時)	要
2(火)	全校朝礼(委員任命式) 百合の行列(1校時) 雪の聖母園 野菜販売(12:00~14:00)	要
3(水)	課題研究ミーティング⑤	要
4(木)	中学朝礼	要
5(金)	SGH研究発表会(9:00~13:40) 中学家庭学習	要
6(土)	夏期体験学習等報告会(9:50~11:40) 英検1次② 高3 五者面談	※
7(日)	高3 五者面談 赤い羽根共同募金	
8(月)	体育の日	
9(火)	ロザリオの祈り(~10/26) 防災訓練(4校時)	要
10(水)	聖心会総長顧問来校	要
11(木)	全校朝礼 全校講話(1校時)	要
12(金)	中3修学旅行・高2見学旅行 結団式 16:40完全下校	要
13(土)	第2回学校説明会(13:30~16:00) 生徒家庭学習	
14(日)		
15(月)		要
16(火)	中3 修学旅行・高2 見学旅行(~10/19) 中1・中2 合同レクリエーション(5~7校時)	要
17(水)	中2-G グローバルスキルズ 中2-S ソフィアサイエンスクラブ	要
18(木)	高1 SADE(午前は家庭学習で午後から、~10/20) 中1・中2 修養会(~10/19) 母の会 修養会	要
19(金)	高3 修養会	要
20(土)	生徒家庭学習	
21(日)		
22(月)		要
23(火)		要
24(水)	梅干し弁当募金⑤ 中2-G グローバルスキルズ 中2-S ソフィアサイエンスクラブ	要 (梅弁)
25(木)	中学朝礼	要
26(金)	高校朝礼 寄宿祭	要
27(土)	中学授業参観(9:50~10:35) 保護者対象 携帯電話安全教室(10:45~11:30) 高1 小論文講習(1~2校時) 高2 小論文講習(2~3校時) 中学保護者懇談会(13:00~14:00) ISSH研修・NZ研修説明会(14:05~14:25) 寄宿保護者懇談会(14:35~15:05)	※
28(日)		
29(月)		要
30(火)	全校朝礼 中3 卒業研究レポート最終提出	要
31(水)	中学 能ワークショップ(1~2校時) 寄宿インフルエンザ予防接種① タブローオーディション①	要

※ 必要な人は昼食をご用意ください。

9月2日(日)の友愛セールには695人の皆様にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。多くの皆様にご支援いただきましたことに、心より感謝申し上げます。また、この度の震災に際しては、多くの方から励ましの声や物資のご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。少しずつ肌寒い季節になってきました。体調を崩されないよう、どうぞお気をつけください。

梅干し弁当募金

9月5日(水)に行われた梅干し弁当募金では総額 **55,813円** を寄付していただきました。日本赤十字社にお送りし、西日本豪雨災害被災者支援に役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。

SGH研究発表会

10月5日(金)にSGH研究発表会を開催します。高1は「人との共生」に関わる探究学習の成果をプレゼンテーションします。高2は「自然との共生」に関わる探究学習の成果をCM風の動画で発表します。高3はいずれかの「共生」に関わる課題解決策である「アクションプラン」の提案と実行についてポスターセッションを行います。また、株式会社伊藤園顧問の笹谷秀光氏をお迎えして、「SDGsの目標を達成していくために、未来を担う高校生に期待すること」という演題でご講演いただきます。

10月6日(土)の夏期体験学習等報告会と併せて、皆様のご参加を心よりお待ちしております。お知り合いの方にもぜひご紹介ください。

コーラス部の活動

コーラス部が外部の音楽祭に出演します。

①三井アウトレットパーク 音楽祭

10月14日(日) 11:00~15:00

三井アウトレットパーク札幌北広島

②札幌市民芸術祭 市民合唱祭

10月20日(土) 12時半頃出演予定

教育文化会館 大ホール

お時間のある方は、ぜひいらしてください。

今月の聖句

あなたがたは世の光である。

あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。

マタイによる福音書 5章 14節・16節

「今回の地震で私の住む地域では地震発生から40時間停電しており、明るいうちに勉強し、暗くなれば身動きが取れず眠るしかないという生活は、予想以上に大変なものでした。」

一人の生徒が地震の時に暗闇の中で感じた思いを分かち合ってくれました。「しかし、なんと運のよいことか、断水にはなりませんでした。自分は家で勉強し、水を飲むことができ、不安ながらも安心して寝ることができる環境にいる。けれど、同じ日常が二度と戻らない被災地の方々や、同じ市内でも避難所の生活を余儀なくされている人々がいることを思うと、今こそ『祈り』が必要とされていると思いました。ここから遠く離れた場所にもどうか届きますようにと想いを込めて祈ることが、今何もできない私にできる全てなのだと思います。聖フィリピン・デュシェーンも年を取って色々な活動ができなくなった時、そういう思いで祈られたからこそ、先住民の人々の心に深い印象を残されたと思います。」

私自身、遠く離れた東京の黙想の家で地震発生を知り、生徒の無事や建物の安全、食糧には不自由しないことを伝えられても、その場にいられないことが歯がゆく、「余震は大丈夫か」などと気が気でない思いで過ごした時に、「今一番大切なのは祈りで支えること、あなたは祈りの力を信じていないのか」と喝を入れられ、「よし、全身で祈ろう」と覚悟を決めた時のことを思いました。

帰礼後、シスターたちは「お祈りの力を感じた。あなたは祈りで応援するために今回黙想に遣わされたと思う。」生徒たちは、「心配してお祈りしてくださってありがとうございました。」と言って迎えてくれました。そして皆様から実に様々なご援助を頂いたことなど伝えられ、感謝でいっぱいになりました。

この間、暗闇の中で見事に頑張り、もめごと一つ起こさず、様々なお手伝いをした寄宿生は、「普通でない大変な時にお互いを思いやるということを実感し、友情が深まりました。」と、通学生も「真っ暗で食料がない中、お店に行くと皆がお互いに譲り合っていました。」と話してくれました。人は暗闇の中で光となる。そう思いました。

期末考査後、毎年国連研修でお世話になる Sr. Gwen Hoeffel が来校され、地球の様々な問題の核となる「平和」に戦争の影が濃くなり、闇が忍び寄っているように思える今、日本の若い世代として、どのように生きるかという問いかけをしてくださり、それに答えるように生徒たちがそれぞれのアクションプランを報告し、シスターに大変お喜びいただきました。1人ひとりが「世の光」であることを実感しつつ、後期を迎えます。

[担当：チャプレン Sr.田口保子]



Sr. Gwen Hoeffel による
SDGs についてのご講演の様子。

生徒による
アクションプランの報告の様子。

